

第2回例会報告

去る7月13日、サンフラワーボールにおいて恒例のボウリング大会を開催しました。和気あいあいとした雰囲気の中、青年部のメンバー33人が参加し、2ゲーム制で合計スコアを競い合いました。ホレボレするようなダイナミックなフォームでピンバシ快速球を投げ込む本格派、変幻自在にボールをあやつりピンを狙い打つ心憎いほどの技巧派、不安定な投球姿勢でボールの行くえもわからない危険なビギナー、etc. それぞれの奮闘振りは見ているだけで結構おもしろかったです。それにしてもこのゲームを職業にしているプロボウラーという連中の技術と集中力はスゴイぞ！

このハイレベル(?)な戦いの中、



審判中の小野氏と藤原氏

見事栄光に輝く金メダルを獲得したのはスコア324点の稲見一郎氏。「昨年、一昨年と2年連続で銀メダルだったのでメッチャ悔し〜かった。今年こそ優勝したかったのでリベンジが果たせてうれしい。昨年優勝の大山雅章氏が不参加だったのもラッキー！」と喜びのコメント。稲見さん、優勝おめでとうございます。(尚、2位以下の方々の記録は資料紛失のため発表できません。すみません。)

今回、久しぶりにボウリングをした、という人も多かったのではないのでしょうか？スポーツが苦手な人でも1回、2回はまぐれでストライクが取れて、スカッとした気分になれるところがボウリングの良いところですね。たくさんの皆さんに集まっていたいただき、おかげさまで楽しいイベントになりました。ありがとうございました。来年も凝りずにまたやりましょうか？

<単独最下位 中山 永浩>



競技を終えて交流会場風景

第2回クリーン作戦

朝方はかなり冷え込むようになった10月20日、昨年に引き続きクリーン作戦が行われました。今年の参加者は65名(会員32名、事業所関係30名、事務局3名)と大幅に増え、「やるぞ青年部！」の意気込みで寒さもなんのその。

渡辺会長の挨拶、注意事項の説明の後、グループに分かれてのごみ拾い、清掃作業に取りかかりました。前述の通り参加者が増えたこともあり、今年は倉敷駅北地区を新たにエリアに加え各グループで作業を行いました。

昨年の経験が役に立ち？作業も慣

れたもの。ごみのありそうなところへさっさと行き、テキパキとそしてスムーズに作業は進みました。決められた1時間もあっというまに過ぎ、無事かたづけも終わって解散となりました。ひとり一人の力はわずかでも、1+1が2以上になると感じたのは私だけでしょうか？

最後に鴨井副会長(会場提供)、室山委員長(搬出作業)、山本専務理事をはじめ事務局の方(諸準備)にはお世話になりました。

皆さん、本当にご苦勞様でした。秋晴れの空がとってもまぶしい・・・。

<白神 雅人>

熱心に作業されている岡氏、平井氏



たくさんの参加者が集まった

自作ののぼりを白神氏

委員会だより

親睦委員会

7月のボウリング大会のあとは特に目立った活動をしておりません。9月末には交流委員会と合同で委員会を開きました。居酒屋で他の委員会のメンバーも交えながら大いに親睦と交流をはかりました。酒を飲みながら、ただワイワイ騒ぐだけの委員会ではあまりにも安易で内容的にさみしいという気もしますが、反面ざっくばらんに語り合うのには酒の席が一番有効であると思います。

今後の課題としては、より多くのメンバーの皆さんに声をかけて委員会に参加していただき、地域活性化事業など青年部としてのいろいろな活動について、もっと本音でもっと深く意見交換していくことではないかと考えます。ひとりひとり意見は異なるでしょうが、熱く語り合ひましょう。まずは、青年部自身の活性化に向けて、親睦委員会としても微力ながら貢献していきたいと考えています。皆さんどうぞよろしくお祈いします。

<中山 永浩>

交流委員会

当委員会は、第1回から寂しい委員会が続きました。事業予定は他委員会に劣らぬ予定を作成しましたが、委員会出席者は数名で絵に書いた餅になりそうでした。そういう状況のなかでの、経営委員会と合同での行事となる7月28日の天領夏祭り。一安心です。そして、8月19日のトライアスロンのボランティア参加。

どちらも真夏日の猛暑の中での行事ゆえ、参加していただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。

また、これらの行事を通じて普段あまり会話がなかった会員との交流が出来たことが、何よりの収穫ではなかったかと思ひます。

9月は親睦委員会と合同委員会を開催しました。ますますの出席者でした。出席者が多い事はいいことです。次回委員会は、新年の行事をテーマに開催したいと思ひます。多数の出席を衷心より願ひ、当委員会の報告とします。

<室山 敏彦 齊藤 浩章>